新生児の警告サイン

911 赤ちゃんに以下の症状が見られる場合は、**911に電話**してください。

- 呼吸をしていない
- 反応がない
- 発作を起こしている

自分の直感を信じてください

赤ちゃんに以下の症状が見られる場合は、**救急外来または緊急診療施設に行ってください。**

- 呼吸困難
- 皮膚の突然変色
- 緑色の嘔吐物

赤ちゃんに以下の症状が見られる場合は、赤ちゃん**の担当の医療従事者**に電話してください。

- 体温が36.5°C（97.7°F）未満、または38°C（100.4°F）を超えている
- 母乳やミルクを飲む量が不十分
- おしっこやおむつの汚れに変化がある
- 病気や感染症の兆候が見られる
- 白目や皮膚が黄色くなっている
- 普段よりもよく泣く

新生児に見られるこれらの警告サインは、医療処置を受けなければ、生命を脅かす状態に至るおそれがあります。

- **赤ちゃんが呼吸をしていない場合は**、直ちに心肺蘇生（CPR）を開始してください。
- **反応のない赤ちゃん**は、手足や体がぐったりしており、目を覚ましません。
- **発作**とは、止めることのできない異常な律動的動作のことです。
- 赤ちゃんに以下の症状が見られる場合は、**呼吸困難を起こしている可能性があります。**
  - 心配になるような呼吸の一時停止
  - 呼吸が速い（1分間に60回を超える）
  - 呼吸時にゼーゼー、ヒューヒューという音がする
  - 呼吸するたびに、肋骨の下や肋骨の間、あるいは首の部分がへこむ
- **突然の皮膚の変色**とは、特に口の周囲、唇、舌などが青色、灰色、または蒼白になることです。
- **緑色の嘔吐物**が出てくれば、緊急外科的処置が必要な状態の兆候であるおそれがあります。

担当医療従事者の氏名／電話番号：

_____

最寄りの小児科病院：

_____

- **赤ちゃんの体温が低い、または高い場合は**、担当の医療従事者が次に取るべき対応を指示します。
- **赤ちゃんが十分に摂取しない兆候**には、以下のものがあります。
  - 普段とは異なる嘔吐
  - 24時間以内に授乳が8回に及ばない
  - 授乳のために毎回のように起こす必要がある
  - 何度も授乳を拒否する
  - うまく吸ったり飲み込んだりすることができない
  - 授乳時間が短くなったり、哺乳瓶から飲む量が普段より少なくなったりする
- **おしっこやおむつの汚れの変化**とは、以下のようなものがあります。
  - 1日におしっこで濡れるおむつの枚数が減る
  - お腹が普段より丸く膨らみ、硬くなっているように見える
  - おむつに血液が付着している
- **病気や感染症の兆候**には、へその緒の発赤や分泌物、包皮切除部位からの出血や分泌物、咳、鼻水、鼻づまりなどがあります。
- **白目や皮膚が黄色くなる**ことは黄疸の兆候であり、医療従事者が評価する必要があります。
- **普段よりもよく泣く**とは、赤ちゃんが過度にぐずり、なかなか泣きやまない状態を指します。

赤ちゃんは一人ひとり異なります。赤ちゃんのことについてご自身が知っていることを信じ、心配な兆候が見られた場合は、赤ちゃんの担当医療従事者に電話してください。

AWHONN
PROMOTING THE HEALTH OF WOMEN AND NEWBORNS

本プログラムは、出産によって命を落とす女性がいない世界の実現を支援するメルクのグローバルイニシアチブ「Merck for Mothers」（お母さんのためのメルク）を通じて、メルクから資金援助を受けています。Merck for Mothersは米国とカナダ以外ではMSD for Mothersとして知られています。

©2026 Association of Women's Health, Obstetric and Neonatal Nurses.無断複写・転載を禁じます。患者教育を目的とする場合に限り、印刷部数に制限はありません。その他の複製に関する申請は、permissions@awhonn.orgまでご連絡ください。